

広島市・呉市 5か所に600人・春名候補気迫の訴え 呉市演説会には本村伸子衆議院議員が応援に



広島県党は、3月20日と22日、広島市内で4か所と呉市の5か所で、参院選勝利をめざす演説会を開催し、合計で600人近い聴衆が参加しました。

演説会では、春名候補は「戦争法廃止、立憲主義を取り戻そう」と気合を込めて演説。「日本共産党が伸びれば政治は必ず変わります。大平さんを国会に送っていただき、国会が身近になったと喜ばれています。比例代表選挙での勝利とともに、定数2の選挙区でも議席を獲得し、大平・高見・春名と三本の虹の架け橋

を広島と国会にかけてください」と訴えました。

また、呉市の演説会には、本村伸子衆議院議員が駆けつけ「安倍政治は絶対許さない」と訴え、大きな拍手が寄せられました。

三次市議選勝利へ・大平議員が国政・地方政治での躍進を訴え

3月27日告示の三次市議選勝利をめざし、19日に大平喜信衆議院議員を迎えての演説会が開催されました。(写真)

三次市議選で日本共産党は、現職の須山敏夫市議の引退に伴い、新人の「いとう芳則さん」を擁立しての選挙です。

いとう候補は、「私は市政での4つのお約束とともに、TPPを絶対に阻止する。そのためにがんばりぬく」と訴え、大きな感動を呼びました。

大平議員は、米軍機の低空飛行やJR三光線廃止問題での取り組みを紹介しながら、「『安倍政治許さない』の声と行動を大きく広げよう、日本共産党の大躍進に大きなお力添えを」と呼びかけました。



2000万署名・目標の9割を集めた支部も(岡山)

「2000万署名を集め、戦争法廃止、野党共闘の前進を」の取り組みが各地で進んでいます。

岡山県委員会は、支部の取り組みに焦点をあてた「推進ニュース」を発行していますが、その中では「500の目標で440筆を集めた美東地区奈義町支部」の取り組みが紹介されています。